ゆめっせ通信

2022年４月１日 発行
No.20
田川市男女共同参画センター
電話0947-85-7134

男女共同参画研修会

男女共同参画の視点で学ぶ防災講座を開催しました

令和３年10月８日(金)、19日(火)に、「男女共同参画の視点で学ぶ防災講座」を開催し、30人が参加しました。第１回は福岡県男女共同参画センター「あすばる」主催の「地域のための災害対応力向上講座」（６月20日開催）の講義映像の視聴を行いました。時間の都合上、講義の一部のみの上映となりましたが、実際に起きた大規模災害の事例や性別及び立場による被災の違いなどについて説明があり、地域コミュニティの課題などを学ぶ良い機会になりました。

第２回は、市安全安心まちづくり課に出前講座を依頼し、講師の日出芳則さん（市消防防災専門員／消防ＯＢ）に防災ガイドブックの見方や女性の視点が必要とされる理由、避難生活で起こるさまざまな問題、地域防災リーダーの育成など幅広い内容について大変わかりやすく説明していただきました。講義の後半は、段ボールベッドを組み立てたり、事前に設置した間仕切りのパーテーションを見学したりする実技の時間を取り入れ、参加者も興味津々でした。また、非常食用のパンの提供もしていただきました。

今回、市職員や地域住民の方が一緒に参加して、災害対応に男女共同参画の視点は欠かせないということを学ぶ良い機会となりました。

参加者の声

○災害時の対策には１つの視点だけでなく多角的な視点が必要なのだと理解した。
○日常よりもストレスのかかる避難所生活時に自分に何ができるか考えたい。
○いつ災害が起きてもいいように、心の準備、避難時の備えを整えたい。

目次

男女共同参画の視点で学ぶ防災講座 …… 1
男女共同参画(ジェンダー平等)の視点からの防災 …… 2
就職サポートセミナー …… 2
デートDV予防講座 …… 3
女性に対する暴力をなくす運動 …… 3
女性人材バンク登録者募集 …… 3
生理用品の配布 …… 3
ゆめっせフェスタ2021開催 …… 4
ゆめっせフェスタ2022のお知らせ …… 4
編集後記 …… 4

男女共同参画（ジェンダー平等）の視点からの防災

～誰ひとり取り残さないために～

東日本大震災や熊本地震といった過去の大災害の際の避難生活において、性別・多様性の視点からさまざまな人権問題が発生しています。

○**生活環境**
プライバシーや衛生問題
○**救援物資**
育児・介護用品、女性用品の受け取り
○**心身の健康**
不眠、便秘、妊産婦の医療支援不足など
○**安全面**
ＤＶ、性暴力、ハラスメント
○**性別役割の強化**
家事の重労働化、避難所での炊き出しなどの女性の負担など
○**意思決定に係る男女比の偏り**
避難所運営をはじめ支援活動などの場での責任者や委員の大半が男性

熊本地震では、避難後のストレスや持病の悪化などで亡くなる、いわゆる「災害関連死」が、建物の倒壊などで亡くなる「直接死」の４倍であったことから、避難後の過ごし方の問題が浮き彫りとなりました。

こうした観点から、内閣府が、2020年に、地方公共団体が災害対応に当たって取り組むべき事項をまとめた「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」を作成しました。

７つの基本方針

⑴平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる
⑵女性は防災・復興の「主体的な担い手」である
⑶災害から受ける影響やニーズの男女の違いに配慮する
⑷男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
⑸女性の視点を入れて必要な民間との連携・協働体制を構築する
⑹男女共同参画担当部局・男女共同参画センターの役割を位置付ける
⑺要配慮者への対応においても女性のニーズに配慮する

田川市安全安心まちづくり課では、防災意識を高め防災体制の充実を図ることを目的として、市で作成した災害対応ガイドブックを使って、地域で防災についての出前講座や避難訓練を行っています。近年は新型コロナウイルス感染症の影響によりなかなか実施できていない状況にあるそうですが、今後も協力して市民の皆さんに対して出前講座を行うなど、災害対応における男女共同参画の視点の必要性について働きかけを行っていきたいと考えています。

「就職サポートセミナー」

再就職 ～パーソナルカラーを知り印象アップ～

令和３年12月15日（水）に、県と共催で、働くことを考えている女性を対象に「就職サポートセミナー」を開催し、12人が参加しました。講師には、フェアカラーズ代表の國武玲子さんをお迎えし、身に着ける物の色を利用して「私らしさ」を演出し第一印象をよくする秘訣について、非常にわかりやすくお話していただきました。

参加者の声

○好きな色、嫌いな色とその理由を介して、自己分析をする方法はとても参考になった。
○「自分らしさ」を相手に伝えるための色選び、ファッションなどをたくさん講話していただき参考になった。
○色でセルフプロデュースをするという考えが素晴らしいと思った。多様性の時代、自分らしく長く働くための必要なヒントをいただいた。

「女性に対する暴力をなくす運動」特設コーナーを設置しました

国では、毎年11月12日から25日までの２週間を「女性に対する暴力をなくす運動」期間としています。

本市では、この期間に合わせて、今回も田川市立図書館と市役所に特設コーナーを設置し、ＤＶ防止及び女性相談窓口の紹介ポスター等の掲示を行いました。図書館では、関連書籍40冊の紹介もしました。今回は、市役所の正面玄関前にホワイトツリーを設置したところ、たくさんの人にパープルリボンを飾っていただくことができました。皆さんの思いがＤＶで悩んでいる女性に勇気を与えることにつながってほしいと思っています。

「デートＤＶ予防講座」を実施しました

令和３年11月９日(火)に、令和３年度２回目となる「恋人同士の暴力（デート DV）予防教室」を今回も、北九州市で「困難を抱える子どもと女性のための支援センター」を運営しているＮＰＯ法人ＦＯＳＣ理事長の野口真理子さんを講師にお迎えして、福岡県立大学人間社会学部人間形成学科の授業の中で開催し、学生18人が受講しました。

デートＤＶの種類や相手へのメッセージの伝え方など詳細な内容のお話は、学生が今後関連業務に携わる可能性もあり、全員がアンケートで「今日の研修は自分にとって役に立つ内容であった」と答えていました。

生理用ナプキンを無料で配布しています

昨年から生理用ナプキンの無料配布を実施しています。窓口では、名前や住所などはお聞きしません。一度受け取られた方も、再度受け取ることができます。また、女性職員が対応いたします。安心してご利用ください。

●**対象**　市内に住んでいるか勤務している女性で、生理用品を十分に入手できずお困りの方（本人の申し出による。）

●**配布内容**　生理用ナプキン(32枚入)１人につき１パック

●**配布場所**　男女共同参画センター、人権・同和対策課（市役所１階）

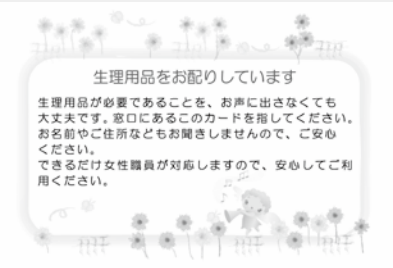
●**配布方法**　いずれかの方法をお選びください。

⑴配布場所の窓口で職員に声をかける。

⑵配布窓口に設置してある専用カードを職員に見せる。

⑶スマートフォンなどで、市ホームページの該当画面を職員に見せる。

※持ち帰り用の袋をお持ちください。



HP 該当画面 QR コード

田川市女性人材バンク 登録者募集

女性の意見を市政に活かしてみませんか？

令和２年度に実施した「男女共同参画社会づくりに向けた市民意識調査」では、「女性人材バンク」を知っていると回答した人の割合は全体で 11.6%（男性:10.3%、女性:12.3%）でした。女性人材バンクの周知がなかなか進んでいないことがわかりました。

「女性人材バンク」とはなに？

女性のアイデアや考えを市政に反映させるため、市の施策に関心があり、市の審議会等の委員として活動する意欲のある女性に、審議会等の委員の候補者として、登録していただくものです。

登録後はどうなるの？

審議会等の委員の任期切れや新規設置の際に、女性人材バンクの情報を審議会等の担当者に提供します。その後、担当者から女性人材バンク登録者へ委員就任依頼が行われます。

※女性人材バンクに登録する際にいただいた情報は、女性人材バンク以外の目的で使用することはありません。

●**女性人材バンクの状況**(令和４年１月31日現在)

登録人数……７５人

審議会などの登用人数……４３人

ゆめっせフェスタ2021を開催

田中 俊之さん
大正大学心理社会学部准教授

令和３年11月21日(日)、田川文化センターで「ゆめっせフェスタ2021」を開催し、約140人が来場しました。このフェスタは、本市の男女共同参画推進のための大きな啓発事業で、今回で28回目の開催となります。昨年度はコロナウイルス感染症の影響で中止になり、今年度は開催時期を変更しての開催となりました。オープニングやバザーが出来ませんでしたが、多くの方のご協力により、実施することが出来ました。

講師には、男性学の第一人者である田中俊之さん（大正大学准教授）をお迎えし、「男性学の視点から男女共に生きやすい社会を考える」をテーマに講演をして頂きました。講師は最後に「誰もが生きやすい社会をつくるには、多様性を受け入れることやお互いを認め合うことが必要である。さらに相手を受容するには、人に対して無関心な消極的寛容ではなく、自分とは異なる人への敬意や人と人との交流のなかで生まれる積極的寛容をもつことが重要である」と締めくくりました。ユーモアもあり、事例を含めながらのお話はとてもわかりやすかったです。

※男性学とは「男性が男性だから抱えてしまう問題」を扱う学問です。例えば、働きすぎ、自殺、そして、結婚難などが挙げられます。

参加者の声

○「女性の働きやすさ」と「男性の仕事中心の生き方からの解放」は一体であることなど、改めて考えさせられた。男性（男の子）の生きづらさも感じることができた。
○わかりやすいお話で楽しかった。自分の中の「あたりまえ」と思っていることを見直したい。
○男女共同参画は女性だけの問題でないと感じた。
○無関心は一見優しいが本当は危険だという話は、とても心に残った。コミュニケーションをとることを大事にしたいと思った。

ゆめっせフェスタ 2022

ゆめっせフェスタを６月に開催します。詳細が決定しましたら、広報たがわやホームページ等でお知らせします。

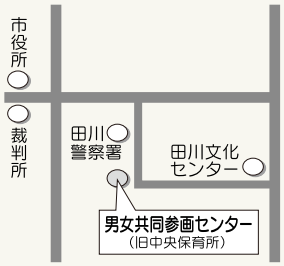
とき 6月18日(土)　**ところ** 田川青少年文化ホール

入場無料(先着順)／託児・手話通訳あります。(要予約)

地域貢献活動評価項目の対象となる講演会です。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、日時・内容等の変更または中止となる場合があります。

編集後記

昨年度中止になったゆめっせフェスタ。今年度も１度延期になりましたが、11月に開催することが出来ました。歴史のあるゆめっせフェスタですが、中止になったのは初めてでした。「ゆめっせフェスタをこれからも続けてください」といった参加者のお声を多数頂きました。あたり前に出来ていたことが出来ず、生活様式も変わってきましたが、変化をしつつも大切な物を守り続けていきたいと感じました。（武）

編集・発行　田川市男女共同参画センター
〒826-0032　田川市平松町3番36号
電　話　0947－85－7134
ＦＡＸ　0947－44－0888
E-mail：danjo@lg.city.tagawa.fukuoka.jp
Ｈ　Ｐ：http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/list00794.html
印　刷　㈲川崎印刷